

北山用水を利用した小水力発電所建設に伴う地域環境整備事業

1. 補助事業の目的

市並びに用水組合の要望に基づき、発電所に隣接してミニ公園（PR 公園）を整備し、歴史ある北山用水とそれを利用した水力発電所について説明看板等を設置し発電所見学に合わせた環境教育を推進する。
また、市の北山用水遊歩道整備構想と連携し、地域住民の憩いの場として活用できる広場にするにより、地域の活性化に資することを目的とする。

2. 補助事業の概要

(1) 事業者名

東京発電株式会社

(2) 事業期間

平成 30 年 7 月 12 日 ～ 平成 30 年 10 月 31 日

(3) 対象地域

静岡県富士宮市

(4) 対象地域の状況

富士宮市は、世界遺産となった富士山の西南麓に位置し、平安初期に造営された富士山本宮浅間大社（全国の浅間神社 1,300 余社の総本宮）の門前町として発展した町である。

市内には、豊富な湧水によって養鱒場や水力発電所が数多く設置されおり、1,000 キロワット以下の小水力発電所は 12 箇所、出力合計 6,350 キロワットと箇所数、出力とも「日本一の小水力発電のまち」になっている。

市内を流れる芝川は、市北部の湧水群に源を発し、流下して富士川に合流し駿河湾に注ぐ。発電所設置予定の北山用水は、芝川から取水し農業用、防火用、生活用の水及び上水道の水源として使用されている。この北山用水は、天正 10 年(1582 年)に徳川家康が開削を命じたとされ、市にとって歴史のある極めて貴重な用水となっている。用水には湧水が流れ込んでいるため、普通河川扱いとなっており、河川管理者は市長であり、委託を受けた北山用水運営協力委員会が水運用を行っている。

(5) 対象発電所

水系・河川名	富士川水系芝川から取水した北山用水(普通河川)
発電所名	家康公用水発電所
事業者	東京発電株式会社
出力	147kW

3. これまでの取り組み状況と課題

水力発電所の開発計画について、4 年間にわたり富士宮市並びに用水組合、利水者への説明、協議を重ねてきた。その中で、地域が受けるメリットという視点からは課題が提起された。

市長からは「新たに水力発電に利用するならば、地域貢献、特に環境教育の場として活用できる設備にしてほしいこと」を要望された。

これを受けて市と地域貢献策等について協議を進めてきた。その結果

- ① 隣接する水力発電所の見学と合わせて、特に子供たちが北山用水の歴史・大切さ、その水を利用した水力発電の仕組み・大切さを知る教育の場にしていく。

- ② 市の北山用水遊歩道整備構想に連携して、地域住民の憩いの広場、発電所見学者や散策者の休憩スペースとして活用できる場にしていく。
- ③ 将来的には、災害時に携帯電話やスマートフォンを充電できる設備の設置について検討していく。

4. 実施概要

説明看板の製作、設置

発電所建設中における見学者への理解活動のため、北山用水の説明看板と水力発電の説明看板を製作し、取水口位置と発電所位置にそれぞれ設置する。工事のため設置位置は仮設とする。

富士宮市は、富士山が世界遺産に登録され海外からの観光客も増加していることから英文の看板も設置した。

・看板の製作、設置（計 10 枚）



5. 得られた効果

近隣の住民が散歩時に足を止め興味を示している。また、「第 4 回 全国小水力発電大会 in 富士宮」では体験型見学会の参加者にも周知することができた。

地区住民からは、来年度計画しているミニ公園（PR 公園）の実現が期待されている。

工事期間中の看板設置は仮設置であり、工事車両も動いていることから、当初期待した効果に対しての達成度は 70%程度である。ミニ公園（PR 公園）の整備を行った本設置後の効果が期待される。

なお、富士宮市からも感謝の言葉をいただいている。